

参加してみよう！

平泉について学ぶ

発掘調査現地説明会

平泉文化遺産センターが主催し、年1回ほど開かれる現地説明会。町内で行われている発掘調査の内容を、担当者が現地で分かりやすく説明します。

■問い合わせ先

平泉文化遺産センター ☎46-4012



毎回多くの人が参加する人気の説明会

高齢者学級

60歳以上の町内在住者を対象とした町公民館主催の講義、講演会などを通じて、平泉の文化や歴史だけでなく、現在のまちづくりなどについても学んでいます。

■問い合わせ先…町公民館 ☎46-2010



長島公民館で開催される東稲大学



①平泉ウォーキング教室(山野草編)で紅葉を見に奥州市衣川へ／②西行法師の歌で有名な東稲山を散策／③植物に関する知識を教える講師の阿部さん／④東稲山の緑豊かな景色を楽しみながら、自然を満喫する参加者

第6章 学習を通じて地域の価値を共有

新しい知識を学んだり発見したりすることは、いくつになっても楽しいものです。町では生涯学習への取り組みを進めるだけでなく、歴史や文化などの地域素材を有効活用し、それらの資産が持つ価値を多くの人に伝えています。



①平泉ウォーキング教室(歴史編)で町内を歩く参加者。心地よい汗を流しながら、平泉の隠れた魅力や地域の歴史に触れている／②町内だけでなく、奥州藤原氏関連遺産として一関市や奥州市も巡る／③貴船明神社。道路沿いの田んぼの中など普段通る何げない場所にも、歴史的価値のあるものが存在している



Interview



平泉ウォーキング教室(歴史編) 講師
平泉文化遺産センター ちばのぶたね
千葉信胤 館長

価値を共有することが大切

町内には、有名な場所だけでなく、私たちが日常で過ごす身近な場所にも歴史的価値のあるものがたくさんあります。しかし人口減少や価値観の多様化など、現在は文化遺産、地域の遺産が失われやすい時代となっています。不明なまま消滅する可能性もあります。だからこそ場所やその価値などの情報を共有するため、歴史的価値のある遺産を地域の人たちだけでなく、関心のある人にも知ってもらうことが大切です。

付かされた「毎回参加しているが、全て違う場所を案内してくれるのですごい」と感心し、軽快に歩みを進めていました。

美しい自然がある平泉

「この植物って何ですか?」
「平泉ウォーキング教室(山野草編)」が始まったのは、参加者のその一言。ウォーキング教室を開催した際に、道中の植物に興味を持つ人が多かったため、町公民館が主催となり、本年度から新たにスタートしました。

県環境アドバイザーの阿部慶元さんの案内でウォーキングを楽しむ参加者たち。阿部さんは「町内は珍しい動植物はないが、昔から農林業が盛んだったため、生産による美しい自然が形

成されている」と平泉の自然の魅力について話します。

参加者は緑豊かな自然の景色を眺めながら歩き、「自分が知らない土地でも教えてもらいながら歩くと、より親しみが持てる」「地元を知るいい機会になった」と話していました。

地域素材を活用した学習

「地域について学びたい」。その思いは子どもだけでなく、大人にもあります。平泉は歴史や文化、自然など地域素材に恵まれていますが、それらを活用しながら、学ぶことへの意欲をさらに高め、誰もが気軽に社会参加できる環境を構築していくことで、活力ある地域づくりにもつながっていくはず。

価値を知る人を増やす

町内の各地域に残る遺跡を巡り、郷土の歴史に理解を深める参加者たち。町公民館が主催する本年度の「平泉ウォーキング教室(歴史編)」は6月12日と26日、10月11日の計3回行われ、平泉ゆかりの土地の歴史を聞きながら、健康づくりにも励めるため、毎年好評の企画です。

「平泉といえば中尊寺や毛越寺といった世界遺産の構成資産に目を奪われがちだが、実は町内にはまだまだ隠れた歴史ある遺跡がたくさんある」と話すのは、講師を務める平泉文化遺産センターの千葉信胤館長。その言葉の通り、ウォーキング教室で訪れる場所は、善阿弥屋敷墓や貴船明神社など歴史があり地域では有名だが、世間一般には知られていないようなスポットばかり。千葉館長は「遺跡を今後も守っていくためには、情報を共有し、その価値を知る人が増えていくことが重要」と話し、教室に多くの人が参加してくれている現状を喜びます。

参加者は「生まれも育ちも平泉だが、こんな場所があるなんて知らなかった」まだまだ町内には面白い場所があることに気